

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第二次整備提案書

### ※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

### 1 整備提案の概要について

整備提案名	地域のインテリジェンス「ぷらっと 谷矢部」づくり
提案グループ名	谷矢部池公園愛護会
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	横浜市戸塚区 矢部町
施設整備の概要	<p>谷矢部池公園内のグランド脇にある大きな2本の楠の間に、自然に溶け込んだ建物をつくり、公園に集う人々が憩い、学び、交流できる下記の機能を持つ拠点を整備する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.公園の魅力を向上させるための運営方針を検討し、各種イベントの計画立案や自然環境整備を実行するための運営会議、公園利用者受付の予約、各種イベントの受付を行う事務スペース。</li> <li>2.地域の歴史・四季の写真や資料書物を展示するギャラリースペース。</li> <li>3.利用団体や地域の方々、子供と大人が気軽に交流できるスペース。</li> <li>4.イベント用具、運動用具、園内作業用具を収納するスペース。</li> <li>5.園内廃棄物を再資源化するための作業スペース等。</li> </ol>
整備助成金申請 予定額	500万円
設計及び整備の スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 4～5月 設計の確定、整備計画工程表の作成。</li> <li>2. 5月～9月施工、9月竣工</li> </ol>

### 2 創意工夫について

<p>計画について、特に工夫した点を記入してください。 (住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.公園の魅力を増すため「どんな公園にしたいアンケート」を実施した。様々な世代から184件の回答を得た。また、子供の利用状況と思いを汲み取るため、矢部小学校3年生4クラス113人の授業で、まち普請の先輩であるNPO法人こまちぷらす（戸塚区）の協力を得てワークショップを実施した。</li> <li>2.現時点のスポーツ利用団体9団体に対し、聞き取り調査を実施。</li> <li>3.愛護会会議において構成員の5自治会・町内会長、学校長の意見を頂いた。</li> <li>4.町内会自治会の幹事会や運営委員会に出向き、計画の内容説明を行った。これらの意見をもとに、イベントや公園利用の受付機能、ほっと一休みできる場所、様々な年代の方々が交流できるスペースを提供する。公園の魅力を向上させるため、屋上緑化の施された自然に溶け込むデザインとした。</li> </ol>
<p>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。 ※ 詳細について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.建築場所の地形測量を専門家の指導のもと、地域の方々と一緒に水盛りという江戸時代の手法で行った。</li> <li>2.建築場所の樹木の移植は、戸塚土木事務所と相談し、イベントとして地域の方々と実施。</li> <li>3.整地についても専門家の指導のもと、住民参加型のイベントとする。</li> <li>4.電気引込工事は専門家に、内部配線は地域の有資格者にお願いする。</li> </ol>

<p>は、「想定整備費用内訳書（第3号様式）」に記入してください。</p>	<p>5.泥壁塗りは、竹駒井の竹や藁を知り合い農家等から無料調達し、住民参加型のイベントとする。</p> <p>6.屋上緑化については砂ゴケを予定し、里親を募集し繁殖を試みる。</p> <p>7.仕切り壁間仕切り棚などの製作は、カッティング処理済みの材料を使う事により、組み立て作業を住民参加型のイベントにする。</p> <p>8.内外部塗装ペンキ塗り、ウッドデッキ作成等は、イベント化して整備を行う。</p> <p>9.上下水道を繋げないためキャンピングカー方式の水回りを自主制作の予定。</p> <p>10.蝋燭やプリン石鹸作成教室用の廃油回収ポットも自主制作予定。</p>
<p>整備した施設の維持管理・運営<sup>注5)</sup>計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>注5) 施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</p>	<p>当初は、公園愛護会、わかぎの会、グラウンド利用者団体がコアメンバーとなり、輪番制での運営をする。泉区の社会福祉法人共働舎と植物の共同管理の合意がされ、新年度より協力が得られる。環境が整い次第、公園の運営主体となるNPO法人「ぷらっと」（仮称）が運営する。「ぷらっと」の整備により次の事業を行う事が出来る。</p> <p>1.月一度の軽トラ市(マルシェ)フリーマーケットなどの実施。</p> <p>2.廃油回収ポットの廃油を利用し、ろうそく作成や、プリン石鹸作成イベント。</p> <p>3.園内樹林部の樹木のメンテナンスを兼ねたツリークライミングイベント。</p> <p>4.剪定枝や竹、落ち葉などの廃材を使った資源循環型工作イベント。</p> <p>5.「ぷらっと」に設置されたデッキでは、お笑いライブやミニコンサート。</p> <p>6.グラウンドは、スポーツでの活用のみならずイベントの年間計画を立て実施。</p>

### 3 実現性について

<p>地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	<p>1.近隣住民15件については個別面談をし、了解と応援の声を頂いている。</p> <p>2.横浜新道矢部小学校側の近隣5町内会は自らが愛護会会員であり会議内での確認を行っている。横浜新道線路側の町内会自治会や、第三地区連合町内会、踊場連合町内会からの応援も頂いている。</p> <p>3.公園管理者である戸塚土木事務所とは、定期的に会合を持っており、既に3回の現状報告と経過説明をし、了解を得ている。</p> <p>4.矢部小学校とは、非常に良好な関係で各種行事で協力連携している。</p>
--	---

### 4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。</p> <p>※ 第1次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	<p>アンケートなどで、拠点で何をしたいかを聞いたところ、「一休みできるほっとする場所が欲しい」全体の約40%、「自然勉強会」12%、「自然歴史伝承」11%との結果を得て、公園に集う全ての人が憩い、交流できる場所を建築する事により、以下のような貢献が見込める。</p> <p>1.運動や散歩、ボランティア活動などの後、交流できるスペースの設置は、様々なかわりのある方同士の交流を促進する。</p> <p>2.ギャラリースペースでは、地域固有のメダカやホタル、矢竹の保存、溜池など、公園の魅力の情報発信や自然や歴史を学習し、地域の魅力向上に繋がる。</p> <p>3.小学校や、地域の方々に向けた園内樹木の間伐材などを用いた工作教室や、廃油から作るろうそくやプリン石鹸等のワークショップは、地域と子ども、女性など、幅広い方々の交流の機会を提供する。</p> <p>4.事務スペースの設置は、グラウンド利用者の聞き取り調査結果に基づき、グラウンド利用を曜日から時間管理へ、一面から分割管理への実現を果たし、公園を利用する方に、申請方法などを明確にし地域の方々により使い易くする。</p> <p>5.小学校からの要請で、学内遊びと公園での放課後遊びに連続性を持たせ、地域と学校一層の融合性を発展させる。</p>
--	--

### 5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>(材料の調達方法や施行業者への発注方法など)</p> <p>※ 整備に要する費用や労力の負担については、「2 創意工夫について」に記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.設計などの建築全般を地域の知り合い業者に依頼するため、コストダウンが図れる。</li> <li>2.リサイクルコンテナで、平屋の間仕切り無しの一フロアを作り、間伐材、再生材やリサイクル材の活用をしコストダウンを図る。</li> <li>3.パーゴラの発注を骨格部分とし、デッキ部分の材料調達、製作作業は地域の方とともにいきコストダウンする。</li> <li>4.作業を仕分け、綿密な工程表の作成で、無駄な材料を出さない。</li> <li>5.内装の泥壁についての材料、竹駒井の竹や藁、土は全て知り合いなどから現地調達でき、コスト削減に貢献する。</li> <li>6.屋上緑化用の砂ゴケは里親に育成委託し、購入する砂ゴケの節約を図る。</li> <li>7.上下水道を繋げないことによるコスト削減。</li> </ol>
--	---

## 6 地域まちづくりへの発展性について

<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.「ぷらっと」の整備過程で、地域の老若男女総勢が係わるイベントが盛りだくさんのため、色んな形のコミュニティが形成できる。例えば、竹を割って編み、土と藁を発酵させ昔ながらの泥壁を塗る作業は、家作りの原点に迫り、作業に従事するボランティアに多くの話題を提供でき、コミュニケーションの輪を広げる効果がある。また、仕切り壁や棚の組立の親子イベントは、親が子の大きな可能性や秘められた能力に気づききっかけになり、新たなコミュニケーションが形成されるきっかけになる。このように、地域の方々や公園利用者も建設に深く係わり建物を完成させる事により、施設への愛着を持つことになり、新たな交流が形成される。</li> <li>2.学校のユースタイム(地域の方が子供と一緒に長縄跳びなどの遊びを行う)事業での地域との係わりの形態を、「ぷらっと」でも引き継ぎ、連携する事により、放課後や休日利用の学校と地域の大人と子供の交流がより濃密になる。</li> <li>3.「ぷらっと」(9時～5時の開所予定)が存在し、多くのワークショップやイベントを実行することにより自治会町内会、利用団体や訪問者の交流ができ、新たなコミュニティの形成が出来る場を提供する。</li> <li>4.「ぷらっと」建設の情報が流れ、地区センター、隣接区の泉区の町内会や、授産施設などからもイベントの連携や、植物管理などの応援協力が得られ、今までに無かった活動の活性化が実現される。</li> <li>5.公園を利用する団体は個別活動をしている。「ぷらっと」が介在する事によりお互いの必要とする情報を共有し、新たなコミュニティの形成を促すハブとしての役割を担う。</li> </ol>
---	--

## 7 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.この公園は単なる里山ではなく、生活に必要な全てを備えている。この資源を活用・運用し、資源循環型を実現する事で、公園の魅力を向上させる。</li> <li>2.「ぷらっと」は、幼稚園保育園3園、小・中・高各2校ずつ計6校と地域、町内会自治会、地区センター2箇所の中央に位置する。建設できた場合、これに明治学院大学を加えた竹燈籠のタベ等の連携事業を手がけると同時に、他のイベントや公園運営でコラボレーションしてゆく。</li> <li>3.生き物についての展示など、情報発信基地として充実させ、その情報は今まで興味のなかったことへ目を向けるチャンスとなる。</li> </ol>
-------------------------------------	--

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

# ヨコハマ市民まち普請事業

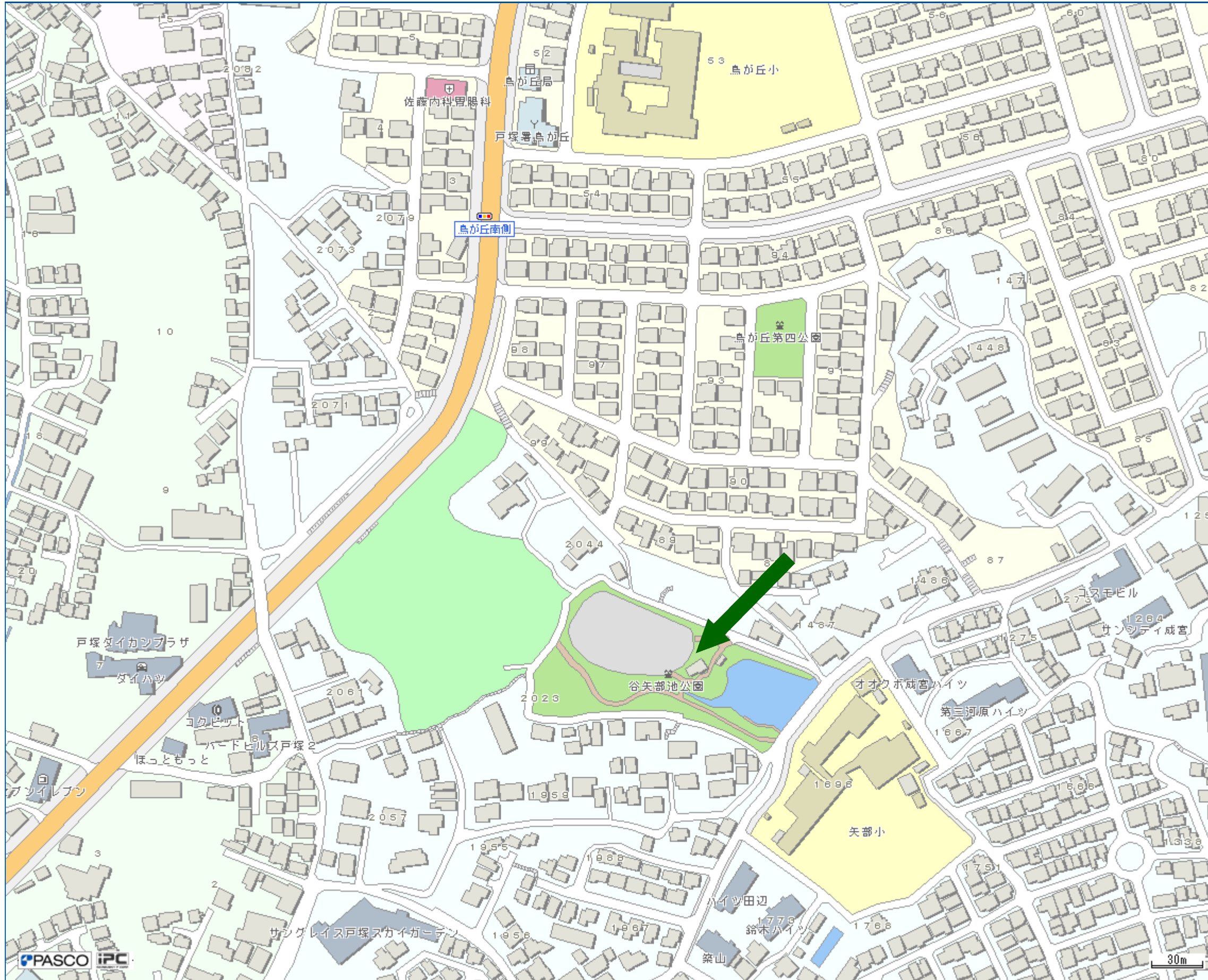
## 想定整備費用内訳書

### ※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 （費用又は労力の負担等）
実施設計		一式	400,000	400,000	
地盤整備工事	樹木の移植	一式	0	0	10人 2日
	整地	一式	0	0	10人 1日
建築確認申請		一式	280,000	280,000	
基礎工事	基礎工事	一式	900,000	900,000	
コンテナ工事	輸送・設置等	一式	1,350,000	1,350,000	
パーゴラ工事	骨格建築	一式	600,000	600,000	
	床板等	一式	220,000	220,000	5人 2日
内装工事	竹駒井用竹	30m <sup>2</sup>	0	0	5人 2日
	藁切り	30m <sup>2</sup>	0	0	2人 2日
	泥壁作成	30m <sup>2</sup>	0	0	10人 2日
	縄、釘等	一式	5,000	5,000	
	泥壁塗り	30m <sup>2</sup>	0	0	20人 1日
	仕切り壁	12枚	1,800	21,600	
	仕切り柱	2束	3,050	6,100	
	仕切り棚	1束	2,800	2,800	
	仕切り壁組立		0	0	10人 1日
塗装	塗料	2缶	22,000	44,000	10人 1日
電気設備工事	電気引込	一式	170,000	170,000	
	内部配線材料費	一式	10,000	10,000	1人 1日
	照明器具	5個	6,000	30,000	
水周設備工事	給排水設備	一式	20,000	20,000	2人 1日
	シンク設置	1個	30,000	30,000	
屋上緑化	ALCコンクリート	45m <sup>2</sup>	3,799	170,955	
	防水シート	3巻	17,900	53,700	
	緑化用砂ゴケ	244枚	1,300	317,200	
	砂ゴケ設置		0	0	10人 1日
中計			4,631,355		
消費税			370,508		
			合計	5,001,863	

案内図



注意:  
この図は都市計画の法定図面ではありませんので、公に証明する資料として  
利用することはできません。参考図としてご利用ください。





ぷらっと谷矢部

# 谷矢部池公園全体模型



0 10 20 30m

所在 戸塚区矢部町1996番地  
面積 22,857㎡(近隣公園)

谷矢部池公園模型俯瞰図



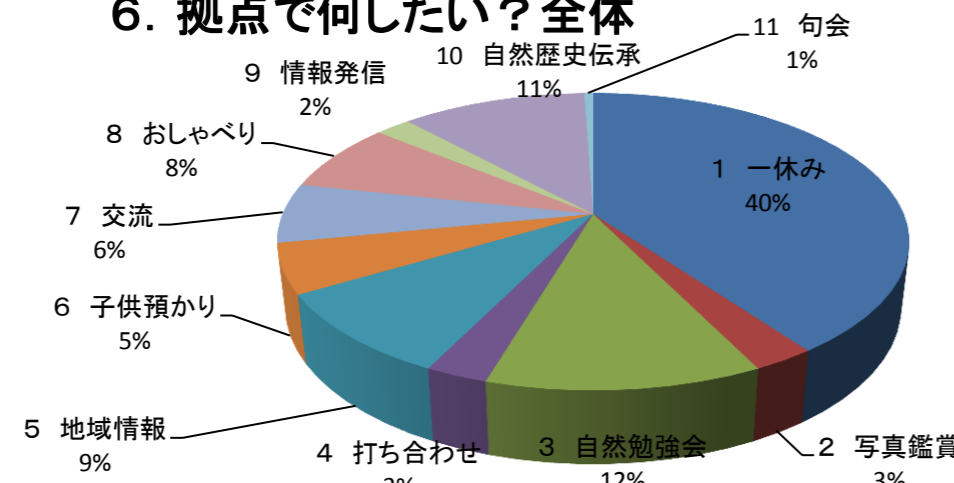
南西側からの俯瞰図



南側からの俯瞰図

平成28年10月29日 竹灯籠のタペにて公園についてアンケートをとりました。

6. 拠点で何したい？全体



どんなふうに公園を使いたい？



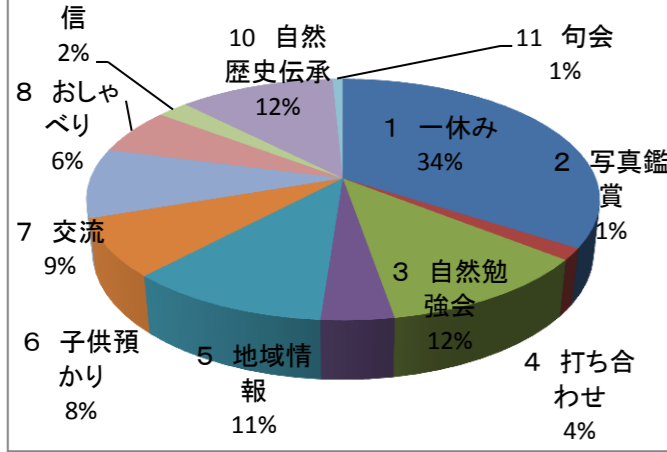
10/29 竹灯籠のタペにて公園アンケートを取りました。横の円グラフは、当日来場頂いた方々にアンケートを取った結果の、抜粋です。

★ ワークショップ@矢部小学校

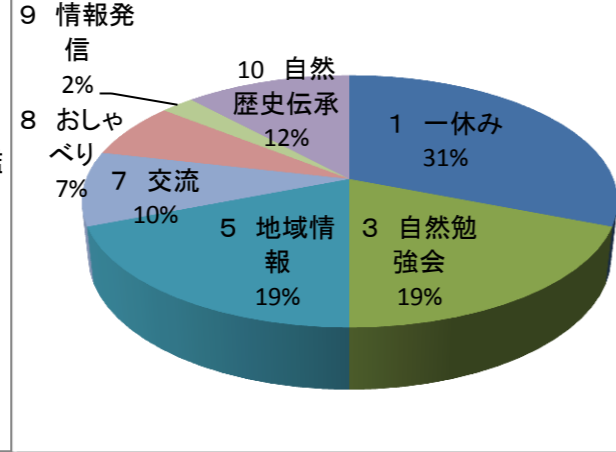
11/18 矢部小学校 3年生

どんな公園にしたい？授業アンケートをワークショップ形式で行いました。竹灯籠のタペでのアンケートは、年代・性別様々な方の声を聞くことが出来ました。今回は、矢部小学校3年生全員の声を聞くことが出来ました。

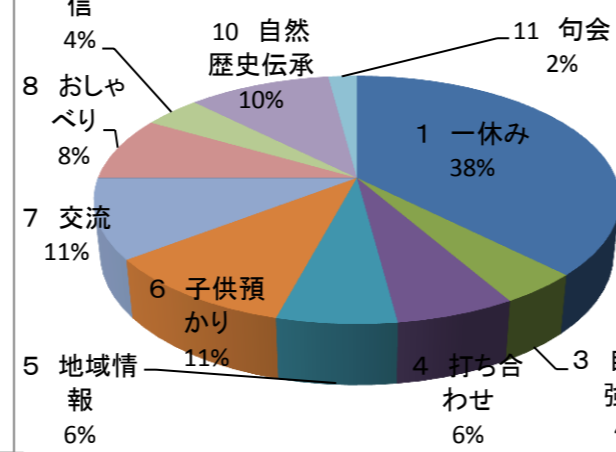
30~50代



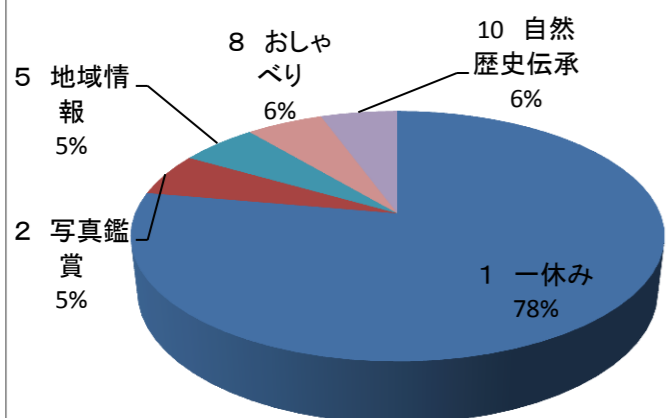
30~50代男性



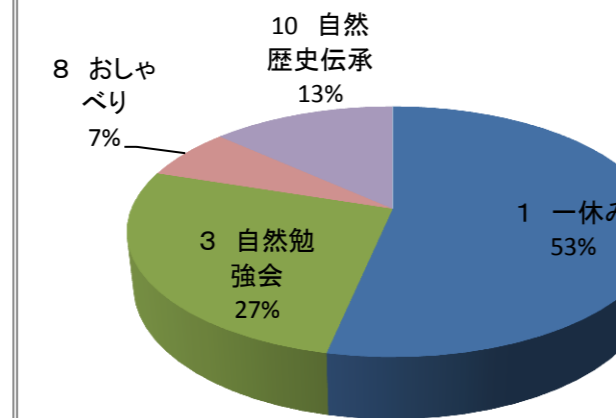
30~50代女性



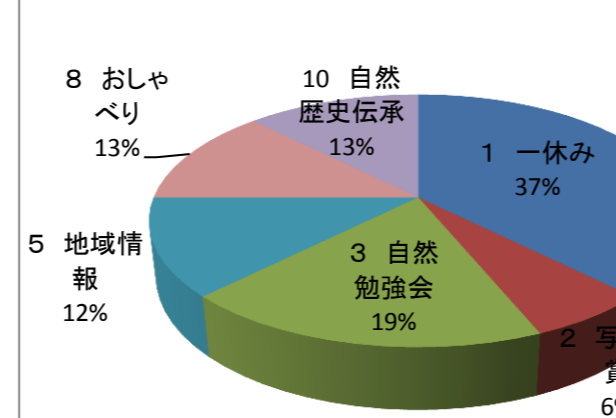
小学生



中学生~20才



60才~



6グループに分かれ、活発な意見交換が行われました。

- \* グラウンドでは、バスケットボール・バレーボール・テニスなど色々なスポーツがしたい！
- \* 自然教室や生き物観察など、自然に興味がある。知りたい。守りたい。
- \* じゃぶじゃぶ池で、遊びたい！！
- \* 季節を感じられる花が多く欲しい。

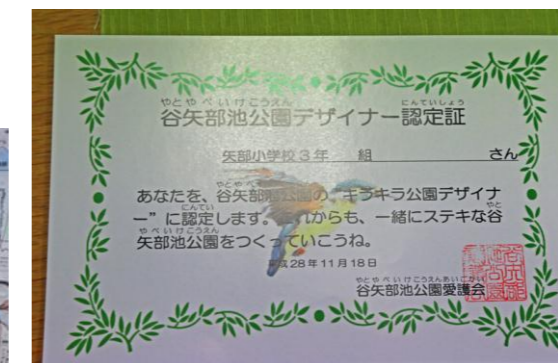


- \* アリゲーターガーを入れないで！！
- \* 鉄棒がほしい！
- \* ローラー滑り台がほしい！（遊具・竹林のどちらも要望が多かったです）
- \* 公園をきれいにしてほしい。

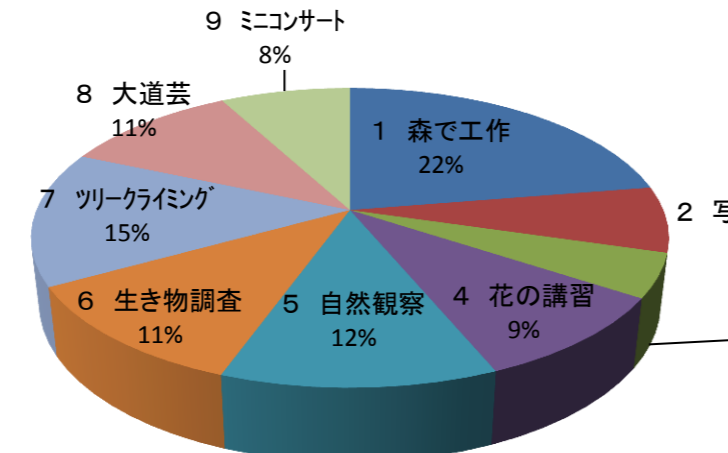
等、沢山の夢が聞こえました。



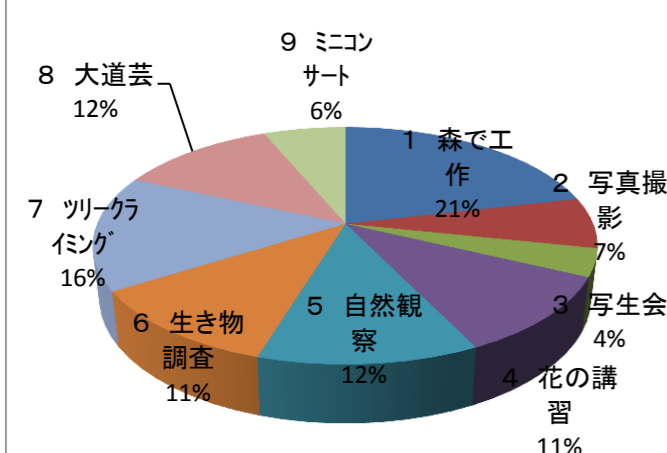
愛護会会長よりデザイナー認定書を代表の児童に手渡しました。全員が、自分の名前が書かれた認定書を受け取りました。



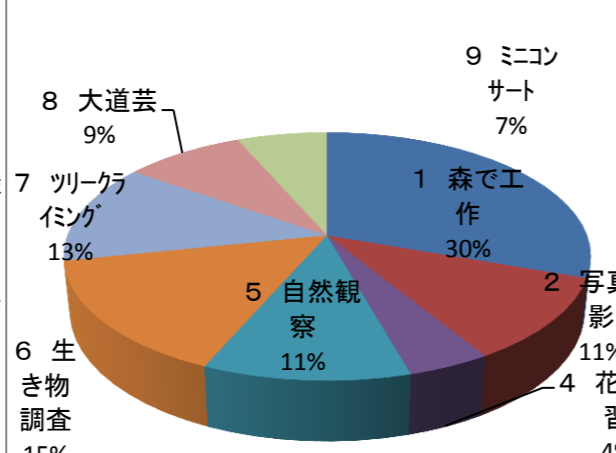
7. どんなイベントに参加したい 全体



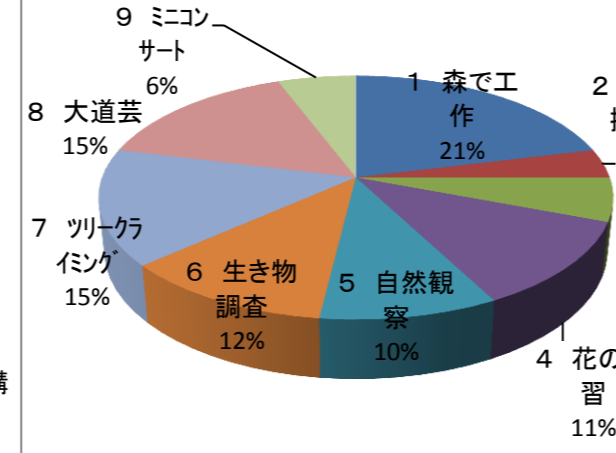
30~50代



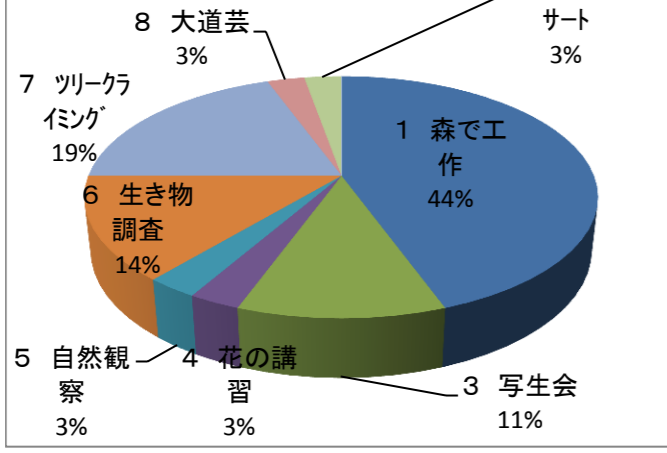
30~50代(男性)



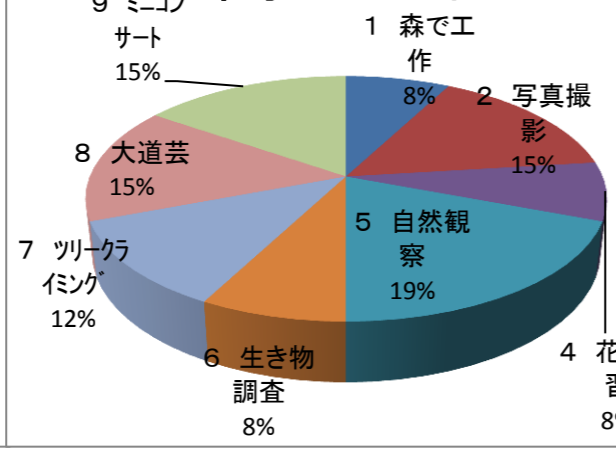
30~50代女性



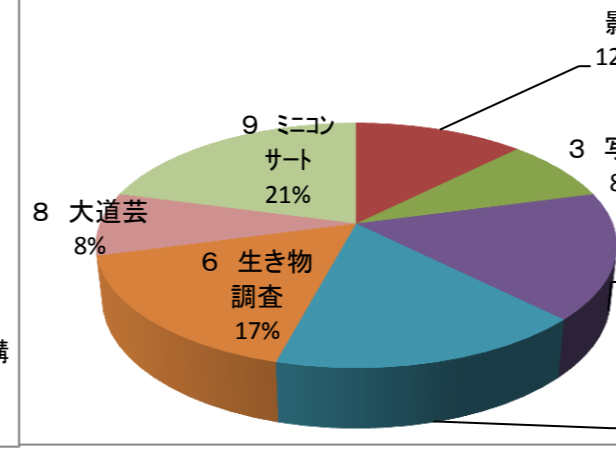
小学生



中学生~20代



60代~



最後に、各グループ3分で発表を行いました。





# 谷矢部池公園のあゆみ

谷矢部池公園を自分たちで運営し  
より地域に身近な、多目的に利用で  
きる公園にしたい!!

地域の子育てサークルと一緒に活動を開始!  
グラウンドでフリーマーケットを開けたらいいね。  
新鮮な地場野菜の市場も開けたらいいね。  
ネーミングは「軽トラ市」!! 農協さんと検討中!!

毎年公園にて「竹灯籠の夕べ」を開催。今年で6回目を迎え  
テーマは「ふるさとづくり」子どもたちにふるさとを残したいと  
いう思いで、近隣諸団体との協力も徐々に広がっている。公園が  
人々の集う場所となれば、という思いが込められている。

平成8年  
公園に隣接する樹林地の公園化を目指して  
公園愛護会が所有者の方々や関係役所に陳情  
新たに7町内会が愛護会に参加、13町内会となる  
9月:第1回谷矢部池カイボリ実施

平成6年  
近隣6町内会で谷矢部池  
公園愛護会設立

平成5年12月  
池周辺とグラウンドが整備さ  
れ公園開園!!

平成2年  
農業用水をためておく池の  
一帯を公園にする提案  
矢部小学校の児童から市へ  
お願いをする

平成11年  
3月:樹林地が整備され、現在の2.3hの公園となる  
5月:矢部小学校の子どもたちにより、平家ぼたるの  
カワナガ放流  
横浜黒めだか矢部ピュア放流  
樹木札付ける

平成11年6月  
6月:谷矢部池水源の森開園  
7月:第2回カイボリ実施

平成25年4月~平成27年4月  
改修工事始まる トイレの設置  
グラウンドのネット整備  
遊具の整備

平成28年2月  
第1回谷矢部池公園高度利用研究会を開く  
谷矢部池公園愛護会、矢部小学校、わかざの会  
戸塚土木事務所が参加

平成28年  
5月:まち普請整備施設の瀬谷区「みまもりの家」  
青葉区「美しが丘平津SUNサロン」  
神奈川区「片倉うさぎやまプレイパーク」見学・意見交換会  
6月:ヨコハマ市民まち普請事業に応募  
地域のインテリジェンス「ぶらっと谷矢部」づくり  
7月:グラウンド利用団体説明会でグラウンド利用について意見交換  
9月:現地の測量を地域の人たちとでおこなう  
社会福祉法人「開く会」(泉区)の方々と意見交換、協力を得る  
10月:「第6回竹灯籠の夕べ」にて公園利用についてアンケートを取り  
公園愛護会のフースにて地域の人たちと意見交換会  
公園の隣接宅に説明して回る  
11月:矢部小学校3年生4クラスでワークショップ。子どもたちの生の声  
を聞く。テーマ「こんな公園にしたい!こんなことして遊びたい!」  
大洋建設さんと整備についての打合せ、相談をする  
近隣の西町内会に向けて説明会実施  
12月:「まちとこどもアートでつながるhumhum」さん企画により  
テイクキャンプを公園で行う予定

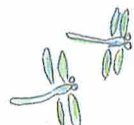


測量中

平成22年7月  
第3回カイボリ実施

平成18年  
公園活用を目指して、トイレの設置やグラウンドのフェンスの整備な  
どを検討  
愛護会は5町内会に縮小  
矢部小学校が愛護会に参加

平成17年ころ  
公園の水源の森は人の手が入らず荒れ、竹藪が生い茂る。



スタート

